

# 唐津西高校

## 活動実績 No. (26)



活動名	1年生総合的な探究の時間での RESAS 出前講座
実施日	令和5年11月14日(火)
活動の記録	<p>1. 活動の目的</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 事象を正確に把握し、動向の予測や分析する力を育成する。</li><li>・ 様々なデータの活用の仕方、操作の仕方を学ぶ。</li><li>・ 仮説や論に対して、データを活用することで根拠を示すことの重要性を知る。</li><li>・ 探究活動においてデータ利活用を推進する。</li></ul> <p>2. 内容</p> <p>経済産業省九州経済産業局の須藤哲氏による RESAS の出前講座を行っていただいた。まずは、なぜデータの活用が必要なのかという EBPM の重要性について話をされ、次に経済産業省が運用する RESAS や政府統計の e-Stat の活用方法について実践を交えながら教えていただいた。操作については多少難しいところもあったが、手順の資料を見ながら活用することで、少しずつ慣れてくるものと思われる。</p> <p>今後の探究活動においても根拠を示す必要性が出てくるため、積極的に活用していきたい。</p>

↑ 全体の前で話をされている様子

↑ 作業を行う生徒の PC

← 実際に RESAS を操作する生徒の様子

活動実績 No. (27)

活動名	1年生総合的な探究の時間 九州産業大学地域共創学部地域づくり学科との連携
実施日	令和5年11月21日(火)
活動の記録	<p>1. 活動の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九州産業大学地域共創学部の取組を学ぶ。</li> <li>大学での学びや研究と、高校で行う探究活動の関係を考える機会を設定する。</li> <li>大学生が行う地域づくりについての活動を知る。</li> </ul> <p>2. 内容</p> <p>まずは、大学における研究の進め方や地域づくり学科での取組実践について真木准教授より講義形式で話をしてもらった。その後、学生3人によるゼミナール内の活動方法や小グループに分かれての質疑応答を行ってもらった。</p> <p>真木准教授より、高校生のうち地域をテーマに魅力や課題のことを探究することの価値について話をさせていただくことで、生徒たちは自分たちが行っている探究活動の意義について再認識することができた。</p> <p>また、実際に地域づくり学科で学ぶ大学生と直接対話することを通して、今後の探究活動に対してもどのように進めていくべきか、見通しや方向性を掴むきっかけになったようである。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>↑大学での学びや探究について話をされる真木准教授</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>↑大学生が高校生の質問に答える様子(3グループで行いました)</p> </div> </div>